



日本共産党新潟県議会議員 No.175 2022年11月13日号 【部内資料】

遠藤れい子ひまわりレポート



○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3丁目1-3 ☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443
○県議会執務室 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 県議会内 ☎025-280-5475



ホーム
ページ



「この物価！何とかならんのか！？」

遠藤れい子地域訪問に
次々要望寄せられる

「高齢者医療費は2倍にする、年寄りの声は聞かん、岸田首相はひどすぎる！」の声

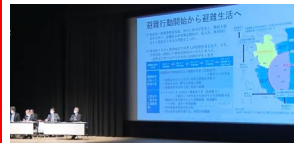


11/6 対話する遠藤れい子県議

11月6日、とっても良いお天気に恵まれて気持ちも軽やかに、毎年の町内新年会に呼んでいただいている三之宮地域を回りました。「子育て支援に力を入れて下さっていますね。これからも頑張ってください。」と3人の子育てを頑張るお母さんから励ましの言葉。「年取ってきたら耳がよく聞こえない。補聴器の支援を是非頼みたい。」
「10月から医療費が2割と倍になった。たいへんだ。」
「米づくりしてるけど、バツか肥料が高くなって大変だ。何とかならんのかね!？」など対話が弾みます。

「低所得者に物価手当・福祉灯油の支給を」

県は「必要な対策を至急検討する」と回答



テレビニュースより

10月17日、県内の福祉4団体は、「低所得者の暮らしを守って」と花角英世新潟県知事に対して緊急要望書を提出、遠藤れい子県議が同席しました。
新型コロナウイルスの感染拡大は続き、物価高騰の影響を受けて低所得者の暮らしはたいへん厳しい状況に。このままでは、冬が越せなくなる「低所得世帯に物価手当と暖房費に」
約100人が参加しました。
はじめに、放射線被ばくを受けない避難生活へ、よう避難する検討の報告はありましたが、県民として一番気になる大雪の時の「原発事故」の原因「3番目に「避難方法」についての報告があり、各報告後に会場から質問や意見が出され、担当の委員長や事務局から回答がされました。
10月17日、県内の福祉4団体は、「低所得者の暮らしを守って」と花角英世新潟県知事に対して緊急要望書を提出、遠藤れい子県議が同席しました。
新型コロナウイルスの感染拡大は続き、物価高騰の影響を受けて低所得者の暮らしはたいへん厳しい状況に。このままでは、冬が越せなくなる「低所得世帯に物価手当と暖房費に」

原発の安全性めぐる「3つの検証」の説明会と意見交換会が開かれる

か、地震で道路が寸断された時などどのように避難するのか具体的な避難方法の提示はありませんでした。「いったん事故が起きれば、どの角度から検証しても住民の生活には取り返しのつかない影響がある。『自分ごと』としてとらえてほしい」との生活分科会松井座長の言葉が胸に突き刺さりました。まだまだ未解明の問題点は多い!



10/17 福祉4団体の皆さんが県に要請。同席する遠藤れい子県議(右)